



小田原市議 佐々木ナオミの 議会を日々ニュース

1面
最近の活動から
2面
H22年度の
気になる予算！

発行：佐々木ナオミ後援会「チーム・ナオミ」 発行責任者 佐々木ナオミ

〒250-0011 小田原市栄町 1-6-16 ビラ片岡 102 tel.fax 0465-24-8121

2010年 春号

市議会議員
佐々木ナオミ

最近の活動から

大阪府へ視察に行ってきました。

1月に、特別支援教育の先進的な取り組みをしている大阪府へ視察に行きました。

現在、小田原市では導尿や経管栄養など医療的ケアを必要とする子どもに対して、地域の公立小・中学校では対応できないため、養護学校へ通うことが通常です。看護師を地域の学校の中に配置することで、医療的ケアを必要とする子どもたちが安心して通えるようになります。大阪府では看護師を配置する市町村に対して、その経費の一部を補助金交付しています。

現在府内では64校、85名の看護師が配置されています（政令指定都市である大阪市、堺市は除く）。府教委にお話を聞くと、予算の問題よりも、どの子ども地域の学校で学べるようにというインクルージョンの考え方を大事にして、必要性があるからこそ取り組んでいるということでした。

その後、大阪府内の寝屋川市立啓明小学校におじゃまして、看護師さんの日ごろの活動や、医療ケアのために増設されたトイレなどを見せてもらいました。

寝屋川市では、教育方針に「特別支援教育の充実」を大きな柱として掲げています。教育委員会の職員さんも校長先生も実際の状況をよく把握して、子どもたちのために丁寧な取り組みをしていました。

議員になってからずっと特別支援教育の改善に取り組んでいますが、障がいのある子どもない子ども共に育ちともに学ぶ状況になるには、まだまだたくさんの課題があります。子どもたちのニーズから始まる意味のある制度をこれからも提案していきます。



医療的ケアの必要な子専用のトイレ。
かわいい工夫がしてあります。



ワンちゃん同士も仲良くなっちゃうよ！

ワンワンクリーン作戦！鴨宮地域でも始まりました！！

昨年発足した「城址公園愛犬家の会」。この活動に参加していた鴨宮に住み方たちが、「マロニエの周辺も犬のフンが多いよね！クリーン作戦をしよう！」ということになり、新たに「鴨宮ハッピー・ドッグ・クラブ(略して鴨宮HDC！カッコいい！)」が設立されました。

ペットを飼う人はとても増えましたが、お散歩のマナーが悪い一部の方のために、フンの被害に対する苦情がさまざまに寄せられています。市でも条例などでマナー違反に対する取り組みをしていますが、禁止事項を増やすよりも、ペットを飼っている人たちで、この問題の解決のために取り組んでいこうということで、愛犬家の会が活動を始めました。

ワンちゃんを連れてのクリーン作戦。鴨宮HDCでは、ワンちゃんをお散歩する時のマナーを書いたチラシを配布しています。

街の中での散歩のマナーは、なかなか難しいもの。「ウンチやおしっこをさせるための散歩」は時代遅れ。今は散歩は運動のためです。ウンチを持って帰るのはもちろんのこと、門扉や壁におしっこをしたら、ペットボトルにお水を入れて流しておくなどのちょっとした心遣いも必要です。

ペットを排除するのではなく、逆にペット連れの方も安心して訪れられるような視点のまちづくりにも、意味があると思います。「ペットとの共生」を目指して、愛犬家からさまざまな提案ができるように私も一緒に頑張りたいと思います。

H22 年度予算案審議中！

3月議会が始まっています。3月議会では来年度の予算を審議する予算委員会が開かれています。加藤市長が就任して2度目の予算。中心市街地の懸案の事業や、これまで市民参加型で行われた各種検討委員会がどうなっていくのか。今年度こそ、大きな動きがあり、市民生活が大きく「チェンジ」するのか、注目が集まる予算です。今回は私は予算委員ではありませんので、審議には参加できませんが、私が気になる事業の一部を、お伝えします。

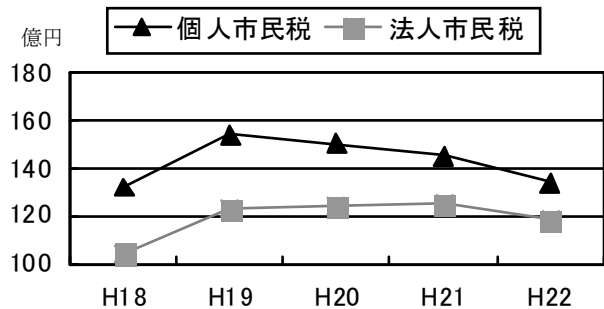
～平成 22 年度予算の特徴～

H22 年度予算は全体で1340億5千万円。気になる歳入は、経済不況の影響で、個人市民税は6億6千万円の減。法人税3億8千万円の減と、収入が大きく減っています。そのため、イザというときの貯金である財政調整基金は8億も取り崩し、残高は過去最低の11億2千万。

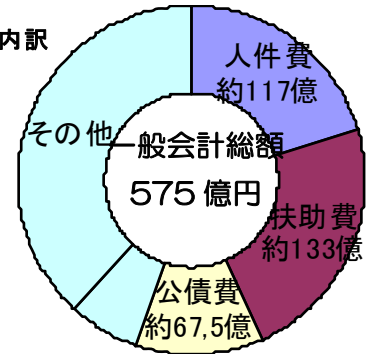
一方歳出のほうは扶助費が約30%も増えています。これは子ども手当の創設と生活保護費の増大が大きな影響で、市では、今後扶助費は毎年3億ぐらいずつ増えていくと予想しています。今年の全体の市債残高は37億減の1171億。しかしこれから懸案の大きな事業が待っています。

入るお金は減っているのに出るお金は増えていく、貯金もあまりありません。借金も何とか返しているけどまだまだこれから大きな買い物がある。小田原市の財政の状況はこんな感じです。

個人市民税と法人市民税の推移



歳出(性質別)の内訳



～国民健康保険は危機的状況！～

3月の補正予算での9億6千万円もの見積もり違い(!)のために、基金はゼロ、県からの借金も満額借りてしまったという厳しい状況の中での予算組み。一般会計からの繰り入れは、前年度比8億円の増。一方、国・県からの支出金は合わせて14億円の減。

医療費の増大などから予算はどんどん膨れ、現状の保険料で何とかできる状況ではありません。

保険料の値上げは避けられない状況です。

結果、H22年度予算では、1人当たりの保険料は年間4459円のこれまでにない大幅な値上げが提案されています。一般会計からの繰り入れも、これまでにないほどの金額になっています。

経済不況の中で収納率も下がってきています(平成20年 88.11%)。

今後の国民健康保険の運営自体が危機的状況の中で、昨年度の見積もり違いも含め、市民への説明を十分に行い、緊張感を持って運営をしてほしいと思います。

国民健康保険特別会計の推移

	H20	H21	H22
1人当たりの保険料(年間)	85219円	85219円	89678円
1人当たりの一般会計からの繰入金	14450円	14584円	28600円

HP・ブログでも活動を発信しています。「佐々木ナオミ」で検索！

佐々木ナオミ公式 HP
<http://nsasaki.kgnet.gr.jp/>

ブログ「チャレンジャーナオミの日常」
http://blog.goo.ne.jp/naomi7_2006

おだわら市民会議 HP
<http://www9.plala.or.jp/siminkai/index.htm>